

気 候 変 動 を 意 識 し た コ ン パ ク ト で 丈 夫 な 稲 づ く り ！

早生の収穫適期はかなり早い見込み！
早めの収穫準備を！

1 収穫適期の確認と作業計画の作成

早生品種は出穂期が平年よりかなり早かったため、収穫適期も平年よりも早い見込みです。

下表及び別表の刈取適期積算気温表を目安に、**早めに収穫作業の計画を立て適期収穫に努めましょう。**

なお、収穫作業は籾の黄化率が85～90%になったことを確認して開始しましょう。

収穫適期のめやす（8月5日現在 登熟積算気温8月6日以降は近年値^{※1}による）

品 種	出穂期 ^{※2}	収穫適期の 出穂後積算気温	収穫適期 ^{※4}
なつひめ	7月12日	950℃ ^{※3}	8月17日
五百万石 (新潟・五泉) (阿賀)	7月15日	925℃ ^{※3}	8月18日
	7月19日	975℃	8月27日
わたぼうし	7月16日	925℃ ^{※3}	8月20日
ゆきん子舞	7月17日	900～950℃ ^{※3}	8月21日
こしいぶき (新潟・五泉) (阿賀)	7月20日	925℃ ^{※3}	8月24日
	7月23日	975℃	9月1日

※1 近年値は過去10年(H28～R7年)の日平均気温。 ※2 5月5日植えを想定した出穂期。

※3 高温登熟年の積算気温。

※4 新津アメダスでの登熟積算気温(五百万石(阿賀)・こしいぶき(阿賀)は津川アメダスを活用)によるめやす。

2 高温に対応した水管理の徹底

- ・ 出穂期25日後(可能な場合は30日後)まで、飽水管理を徹底しましょう。
- ・ 高温やフェーン時は浅く湛水して障害の発生を防止しましょう。



限りある用水を有効利用するため、かけ流し等を行わず、
節水に努めて、地域全体に水が行き渡るようにしましょう。

熱中症対策はこちら→



詳しい技術情報についてはこちら→

